

研究データ利活用協議会 (RDUF) 平成 29 年度活動の会長総括

平成 30 年 5 月

研究データ利活用協議会会長 武田英明

- ・ RDUF の設立から 2 年間が経過し、機関会員 6 機関、会員 108 名となり、着実にその規模を拡大させた。
- ・ 平成 29 年度は機関会員の自律的な取り組みによる公開イベントの開催、メーリングリストを活用した情報共有など、初年度から継続した取り組みを行った。
- ・ さらに加えて、3 つの小委員会（データ管理計画、研究データのライセンス検討プロジェクト、国内の分野リポジトリ関係者のネットワーク構築）を公募により設置し、実際に活動を開始させたことが平成 29 年度の大きな実績として挙げられる。これにより特定のトピックについて分野を超えて議論できる枠組みが形成された。この活動の成果については大いに期待しているところ。
- ・ 今回、RDUF に参加しているメンバーを中心に **Japan Open Science Summit 2018 (JOSS 2018)** が運営されたことも特筆すべきことである。今後はオープンサイエンスの推進に欠かせない組織として活動していきたい。

－ 以 上 －